

榴ヶ岡寺子屋
福祉編

環境で支える “認知症”

認知症の人を癒すのも、また混乱させるのも、その人を包み込んでいる「環境」次第です。医療、看護、介護などからのアプローチだけでは、認知症の人を支えることはできません。住まい、介護施設、地域などにおける物理的な環境(空間)が 大きな役割を果たします。環境によって癒される認知症の人の姿を通して、これからの時代の在り方を考えます。

開催日時

2月3日(土)
13:30~15:00

講師

いし い さとし
石井 敏氏

東北工業大学 建築学部教授(副学長・建築学部長)
北欧デザイン研究所 所長

会場

仙台市榴ヶ岡市民センター
1F ミーティング室(1)

定員

35人程度

※上記人数のほか、榴ヶ岡地区エキサイティング事業
実行委員も同席します。

申込み

1/20(土)10:00~【先着順】
榴ヶ岡市民センターへ電話または窓口で

受講料無料

●お問合せ・お申込み●

仙台市榴ヶ岡市民センター

TEL: 022-299-5666

FAX: 022-299-5690

〒983-0842 仙台市宮城野区五輪 1-3-1

- ・公共交通機関でのご来場にご協力ください。
- ・当日発熱や体調不良の場合には参加をお控えください。
- ・マスク着用は参加者各自の判断となります。
- ・密集、密接を避けるなどの基本的な感染症対策にご協力ください。
- ・お申込み時にお預かりした個人情報、講座運営以外の目的には使用しません。